

知事記者会見の概要

日 時：令和元年6月28日(金) 16:30～16:41

場 所：記者会見室

出席者：知事、総務部長、秘書課長、広報広聴推進課長

出席記者：13名、テレビカメラ5台

1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

2 質疑応答の項目

発表事項

- (1) 令和元年度6月定例会追加提出予算の概要について

フリー質問

- (1) 発表事項に関連して

<幹事社：河北・共同・TUY>

☆報告事項

知事

皆さん、こんにちは。

令和元年度6月補正予算(追加)についてですね、ご説明したいと思います。

それで、皆さんのお手元に「令和元年度6月補正予算(追加)の概要」という資料を配布させていただきましたので、御覧になっていただきたいと思います。

今回の補正予算ですが、6月5日の降雹・強風等被害及び6月18日の山形県沖を震源とする地震被害への対応に係る復旧等の経費につきまして、先に提案しました「一般会計補正予算(第1号)」に追加して予算措置を講じるものであります。

今回の一般会計補正予算額は、4億3,400万円の増額となりました。先に提案いたしました6月補正(冒頭の分)と合わせますと、累計予算額は6,151億9,200万円となります。

次に、今回の対応策の概要について御説明いたします。

まず、枠の中のローマ数字Ⅰ(補足:配付資料の説明)、6月5日の降雹・強風等被害への対応であります。

「1 災害復旧関係事業」ですが、これは、大雨により河北町西里地内で発生した山腹崩壊に係る警報装置の設置や恒久対策に向けた調査を実施いたします。

また、落雷や強風により被災した、園芸試験場の気象観測装置やおうとう雨よけ施設等を修繕いたします。

「2 農業者への支援関係」としましては、かかり増しする農薬・肥料等の購入費やパイプハウス等施設復旧に対する支援を行いますほか、農林漁業天災対策資金を発動して、必要な運転資金需要に対し金融機関と連携した無利子融資を行います。

また、被災した新規就農者に対し、地元自治体・JA等と連携し、米、味噌、醤油の生活物資を支援いたします。

次に、枠の中のローマ数字Ⅱ、6月18日の山形県沖を震源とする地震被害への対応を御覧ください。

「1 災害復旧関係事業」としまして、(1)は、道路、河川、港湾の「土木関係施設」における復旧事業のほか、災害防除事業として、道路の段差やクラックの補修、河川の護岸整備、温海川などであり、砂防施設の堆積土砂の撤去、古佐川(ふるさがわ)などを実施いたします。

(2)「農林漁業関係施設」につきましては、県管理漁港の小波渡・堅苔沢・米子の各漁港の物揚場(ものあげば)、野積場(のづみば)等の復旧事業のほか、小規模農地や林内路網、林道等の復旧に要する経費について、地元自治体と一体となって支援をいたします。

(3)の「県有施設」につきましては、県立社会福祉施設「寿海荘」、栽培漁業センター、県営住宅「鳥海団地」の配管や給水施設等の修繕のほか、県立高等学校及び県立特別支援学校における施設の破損といった被災に対する復旧・修繕を行います。

「2 被災者への支援関係」であります。あつみ温泉の給配湯施設の復旧や、「あつみ温

泉復活キャンペーン」の展開による宿泊料の割引について、鶴岡市と一体となって支援いたしますので、ぜひ県内外の皆様方から応援していただきたいと思っております。あわせて、風評の払拭に向けて旅行会社に対する県内へのツアー造成への支援も行ってまいります。

また、被災した中小企業者に対し金融機関・地元自治体と連携した無利子融資を実施するほか、建物被災者に対する瓦屋根の修繕や、倒壊したブロック塀の木製化に対する経費について、地元自治体と一体となって支援をしております。

また、今回の地震災害では、現時点でさまざまな制度が適用されない状況であります。それで、建物被災者に対し米、味噌、醤油の生活物資を県独自のお見舞いとしてお届けいたします。

この結果、6月5日の降雹・強風等被害及び6月18日の山形県沖を震源とする地震被害への対応に伴う総事業費は5億9,100万円となり、当初予算で対応する事業費を差し引いた4億3,400万円を増額するものでございます。

今回の補正予算は、降雹被害と地震被害が発生した際に、私自身、被災現場へ足を運びまして、現場の状況について直接お話を伺いました。その中で被災された方々の生活が一刻も早く元に戻れるよう、力を尽くしたいとの思いで、予算を編成いたしました。

今後も引き続き、関係自治体はもとより、政府や関係機関と連携・調整を図りながら、早期の復旧・復興に全力で取り組んでまいります。

以上が令和元年度6月定例会追加提出予算の概要であります。

私からは以上です。

☆フリー質問

記者

NHKの堀です。

今回、ご案内のとおり、国の災害復旧事業のメニューがほとんど使えないような規模の災害が多かったということで、県単独とか市町村と一緒にやる事業というのが多かったと思うのですが、それについての所感と、あと、一方で、この議会中に補正を提案するというので、非常にこう、スピード感を持って対応したような印象があるのですが、このあたりの知事のお考えをお聞かせください。

知事

はい、わかりました。

6月5日ですね、村山地域を中心に、降雹や強風などに襲われ、収穫前の、本当にもう少しだという時期でのさくらんぼをはじめ、果樹や野菜に大きな農業被害が発生いたしました。さらにですね、続いて6月18日には、本県観測史上最大となる震度6弱を記録した、山形県沖を震源とする地震が発生して、庄内を中心に県内全域で、人的被害をはじめ、多

くの建物や施設被害が発生いたしました。改めて被災された方々に、心からお見舞いを申し上げます。

私自身、いずれの災害の際にも被災現場に赴きまして、状況を確認して、被害に遭われた方はもちろん、地元自治体、農林漁業者、産業界など多くの方々と直接お話をさせていただきました。それで、被災した屋根瓦の片付けが自分のお力ではもう限界で困難だという高齢者の方とか、震災の風評を非常に懸念されている観光関係者、また、農業施設に大きな被害を受けて今後の営農活動を懸念する農林漁業者など、行政に支援を求める多くの方々のお声をお聞きしたところであります。

そうしたお声に耳を傾け、被災された方々の生活が一刻も早く元に戻るよう力を尽くしたいとの思いから編成したのがこのたびの補正予算であります。

今回の地震災害ではさまざまな制度が適用されないという状況も踏まえ、被災現場の要望やニーズをしっかりと受け止め、県としての支援策を早急に検討し、緊急に対応が必要な予算を計上したところであります。

今後も被災自治体と連携して復旧に取り組み、また、被災された方々に寄り添って、きめ細やかな支援をすることで、一日も早く災害から復旧・復興し、被災された方々の笑顔をですね、元の生活を取り戻したいと考えているところであります。